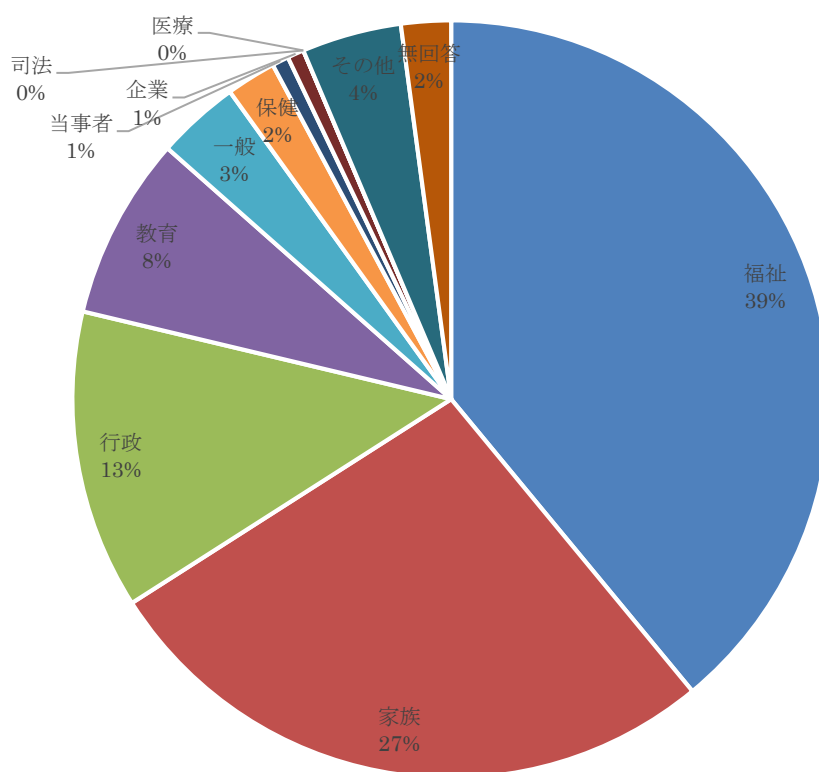


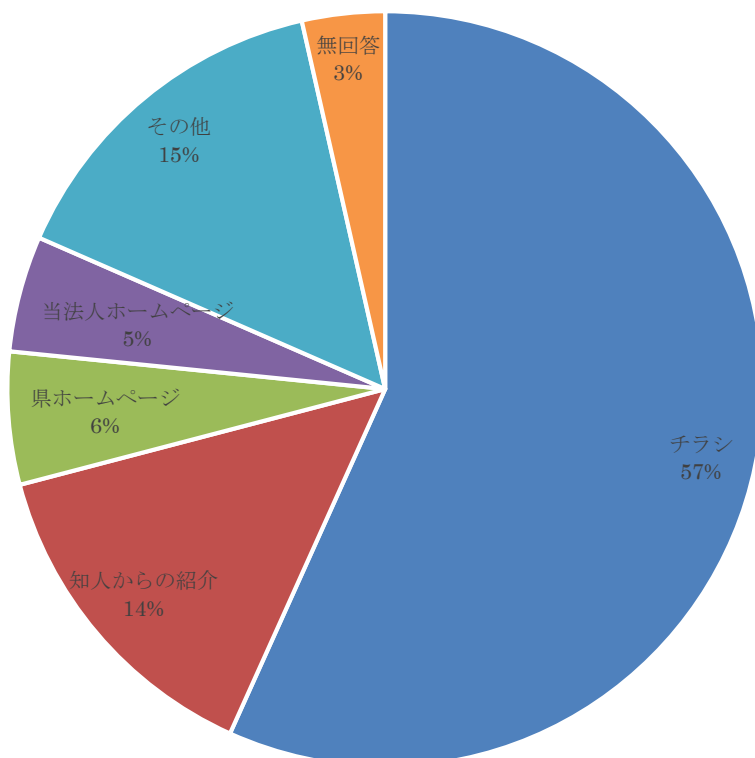
平成30年度 第4回公開講座 アンケート

アンケート回収率：92%

1. どのような立場でご参加いただきましたか。

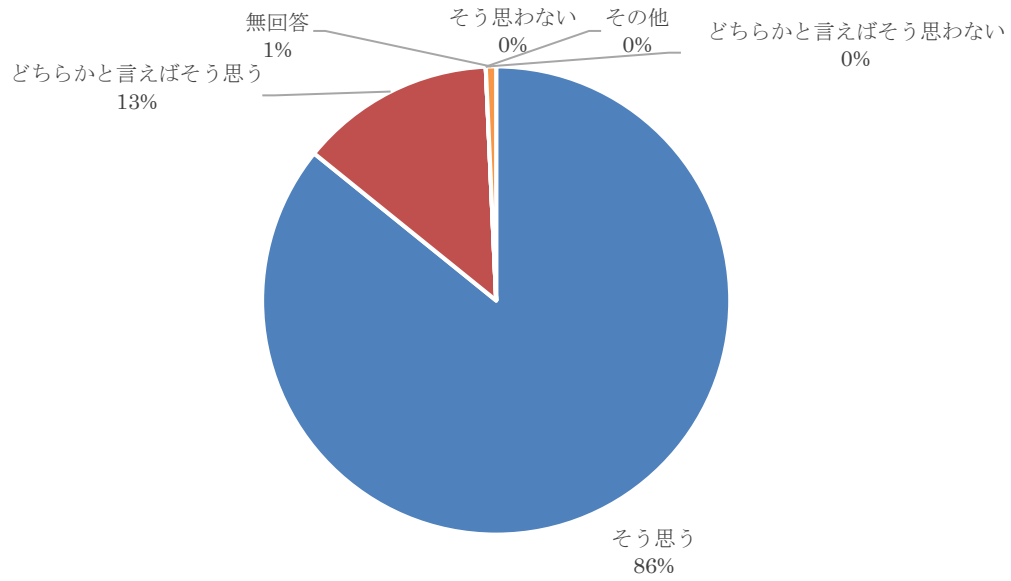


2. 本講座をどのような方法でお知りになりましたか。

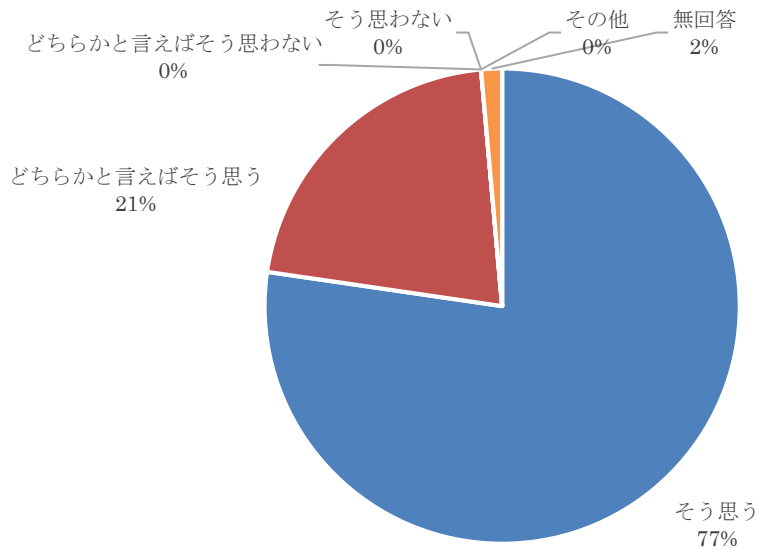


3. 講演について、あてはまるものに○をおつけください。

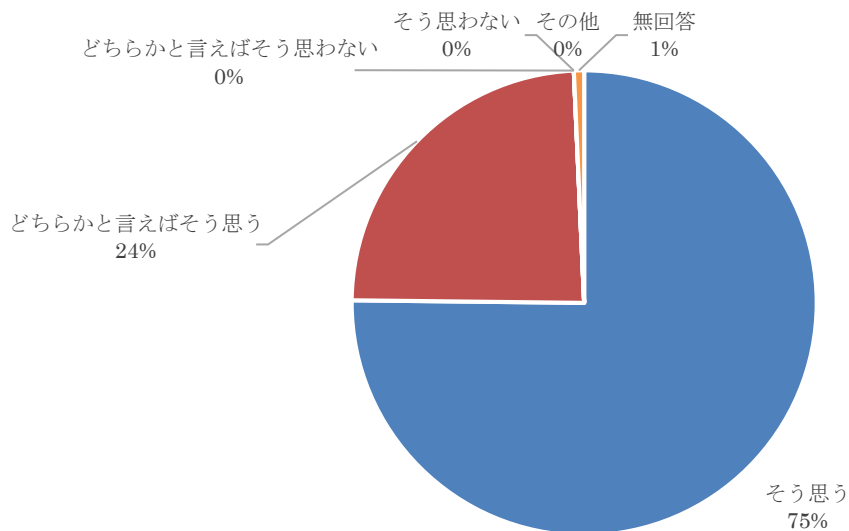
①発達障害に対する理解が深まった。



②日常生活(業務)に取り入れたいと思った。



③家族・友人・同僚に伝えたいと思った。



4. その他ご感想など ※アンケートの中から抜粋し、個人が特定されないような形で要約させていただきました。

- ・ ASD の方の特性を再確認できた。
- ・ 事例も交えながらの説明で、とてもわかりやすかった。
- ・ 今一度、支援の仕方について整理することができた。
- ・ 職場の同僚にも、今日学んだことを伝えたいと思った。
- ・ 成人の方だけではなく、子どもたちの生活についても応用できるような、具体的なヒントをたくさんいただいた。
- ・ 周囲の関わりによって、本人の生きづらさは解消していくのだと思った。
- ・ 本人が理解できるようなコミュニケーションの手段を考え、支援者が本人にわかるように伝えることが大切だと学んだ。
- ・ コミュニケーションが難しいとあきらめてしまうのではなく、どのようなやり方でコミュニケーションを取ればよいのかということ学ぶことができた。
- ・ コミュニケーションはキャッチボール、相手が受け取れるボールを投げるのが大切、ということが印象に残った。
- ・ 就労支援の場でのコミュニケーションの話だったが、学校やふだんの生活などにも必要な知識・考え方だと思った。
- ・ 支援を考える時、「支援者側の投げかけ方が大切」という点がとても印象に残った。
- ・ 就労支援について、勉強することはまだまだあると思った。
- ・ 支援者側のやるべきこと、アセスメントでみるべきことについて、とてもよくわかった。
- ・ アセスメントをして、本人のできる力に目を向けて支援したいと感じた。
- ・ 環境を構造化し、わかりやすくすることで、多くの方が就労を継続できると学んだ。
- ・ 大学生の就労支援においてもとても参考になる話で、即実践したいと思った。
- ・ 企業が具体的にどのように支援をされているかを知ることができ、勉強になった。